

2月20日(月)

恋ヶ窪駅のバリアフリー化完成

エレベーター2基、エスカレーター2基、スロープ設備を備えた
“人にやさしい駅”となります。

西武鉄道（本社：埼玉県所沢市、社長：後藤高志）では、昨年9月より、国土交通省と国分寺市からの助成を受けて国分寺線恋ヶ窪駅のバリアフリー化を進めてまいりましたが、2月20日(月)、上り・下りホームにエレベーター・エスカレーターを各1基、並びに下りホームのスロープ設備の使用開始をもってバリアフリー化が完成します。

これにより、同駅はエレベーター2基、エスカレーター2基に加え、スロープ設備を備えた“人にやさしい駅”となり、車いすをご利用のお客さまやご高齢のお客さまにも便利にご利用いただけるようになります。

また、当社では、今年度、バリアフリー化工事を多摩川線の競艇場前駅で実施いたしました。引き続き、池袋線の保谷駅と秋津駅でも実施しております。

西武鉄道は「人にやさしい鉄道」を目指し、今後とも努力してまいります。



恋ヶ窪駅のホームに完成したエレベーター

< 恋ヶ窪駅について >

所在地	国分寺市戸倉 1 - 1 - 4
乗降人員	10,817人(平成16年度1日平均)
主なバリアフリー設備	エレベーター ... 2基(上り・下りホームに各1基)
	エスカレーター ... 2基(上り・下りホームに各1基)
	スロープ ... 1カ所(下りホーム)